

# 現代韓国政治の解明

民主化前期の政策過程を中心として

Hong Sung Chang  
洪性暢 著

韓国における個人の権利と自由が地政学的な制約によって抑制されてきた。それにもかかわらず、そうした制約と折り合いをつけながら、韓国がどのようにして先進国の国民と同様の個人の権利と自由が保障される政治体へと近づこうとしたのか、つまり韓国政治の民主化への道を学問的に解明しようとしたのが、本稿を執筆する動機であり、本稿の目的である。

## 現代韓国政治の解明

民主化前期の政策過程を中心として

An Analysis of modern Korean politics  
"Focusing on the policy process in the first stage of democratization"

洪性暢 著

1987年を境に韓国政治を転換させた分岐点となった「6.29民主化宣言」を軸に、それ以前については、政策決定の中核制度であった韓国内大統領制の成立とその展開という政治過程に、それ以降については、政治システムの変動力である政治過程の動向の中で展開された韓国における権威主義体制から民主主義体制への移行に関する政策過程について、政治・社会・経済の三つの分野の事例を取り上げて解明し、今日の韓国政治において民主主義が顕花することになるその前提となる実質的立憲主義の定義化過程の特徴と、その政治力学を明らかにした。

ISBN978-4-910302-04-1

定価 2970円 (本体：2700円)

### 【目次】

序章 転換する韓国政治——権威主義体制から民主主義体制への移行

第一節 本研究の目的と課題

第二節 分析視点と各章の概要

第一章 韓国内大統領制度の成立とその展開

第一節 韓国内大統領制の成立

第二節 軍事政権下における韓国内大統領制の変遷

第三節 韓国内大統領制における決定中枢の特徴

第二章 転機となる憲法改正——第六共和国憲法の誕生へ

第一節 全斗煥軍事政権に反発する民主化運動

第二節 憲法改正と大統領選挙法改正の政策過程

第三節 第六共和国憲法の特徴と韓国内大統領制の変容

第三章 事例研究 I——政治改革に関する事例

第一節 実質的立憲主義への転換の動き

第二節 過渡期的立憲主義による国会議員選挙法の改正

第三節 文民政府(金泳三大統領)による公職選挙および不正防止法の制定

第四章 事例研究 II——社会・経済改革に関する事例

第一節 国民の政府(金大中政権)成立とその未期までの政治過程

第二節 国民健康保険法の制定をめぐる動き

第三節 韓国電力公社民営化(二〇〇〇年)

終章 民主化の後期段階への移行を試みた盧武鉉政権の挫折  
あとがき

### 【訳者紹介】

洪性暢 Hong Sung Chang

政治学博士。

1967年韓国江原道生まれ。

兵役終了後1992年、日本へ留学。

大東文化大学卒業後、同大学大学院法学研究科政治学専攻へ進学。

博士前期・後期課程修了。

2018年、成均館大学校でVisiting Scholarとして在外研究。

大東文化大学国際比較政治研究所客員研究員

(研究専門分野：東アジアの平和構築の研究及び韓日関係史)、

成均館大学校国際情報政策・電子政府研究所先任研究員。

◎主な著訳書及び論文

安世舟著『現代日本政治の解明』(ソウルにあるSCHD、2022年、単訳)。

「韓国大統領政治的位相」(大東法政論集 15号、2006年)、

「韓国大統領制の歴史の変遷とその政治的位相の変化」(修士論文、006年)、

「韓国の立法過程」(大東法政論集 27号、2019年)、

「韓国政策過程の参加者」(大東法政論集 28号、2020年)、

「韓国・第6共和国体制の政策展開の分析」(博士論文、2020年)など。

WORLD DOOR

年 月 日

発注者

## 現代韓国政治の解明

民主化前期の政策過程  
を中心として

Hong Sung Chang  
洪性暢 著

様

定価 (2,970円)

部数

部